

続柄	被扶養者氏名	年齢	生年月日	現住所	障がいの 程度、等級等
	フリガナ				
	フリガナ				

※記入上の注意

- 1 年齢の欄には、令和7年6月16日（申込期限日）現在の満年齢を記入して下さい。
- 2 勤務先・学校名の欄には、勤務先の名称のほか、大学（大学院を含む。）、中等教育学校、高等学校、高等専門学校、専修学校、義務教育学校、中学校、小学校、特別支援学校、幼稚園（無認可の幼稚園類似施設を含む。）又は保育所（無認可の保育施設を含む。）に在学し、又は在園している場合には、それらの名称を記入して下さい。
- 3 障害の程度、等級等の欄には、公的機関によって認定された障害の程度、等級等のほか、常時就床を要する方については常時就床と、1年以上の療養を要するため就労ができない状況にある方については長期療養と記入して下さい。
- 4 以下の欄及び別紙の居住状況報告書も記入して下さい。

○申込み理由（該当する番号に○印をつけて下さい。）

1	住宅以外の建物若しくは場所に居住し、又は保安上危険若しくは衛生上有害な状態にある住宅に居住している。
2	他の世帯と同居して著しく生活上の不便を受けている。
3	住宅がないため親族と同居することができない。
4	住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、又は教育上不適当な居住状態にある。
5	正当な理由による立退きの要求を受け、適当な立退き先がないため住宅に困窮している（自己の責めに帰すべき事由に基づく場合を除く。）。
6	収入に比して著しく過大な家賃の支払を余儀なくされている。
7	その他（ ）

○申込者及び同居予定者で構成する世帯が次のいずれかに該当する場合は、該当する番号に○印をつけて下さい。

1	身体障害者手帳（1級から4級まで）の交付を受けている方がいる世帯
2	精神障害者保健福祉手帳（1級又は2級）の交付を受けている方がいる世帯
3	療育手帳（A、A1、A2又はB1）の交付を受けている方又は児童相談所等の公的機関において知能指数が50以下と判定された方がいる世帯
4	戦傷病者手帳（恩給法別表第1号表の2の特別項症から第6項症まで又は第1号表の3の第1款症）の交付を受けている方がいる世帯
5	原子爆弾被爆者のうち医療特別手当又は特別手当を受けている方がいる世帯
6	海外からの引揚者（厚生労働省社会・援護局長が証明した方）で引揚げから5年以内の方がいる世帯
7	国立ハンセン病療養所等に入所していた方（ハンセン病療養所入所者等に対する補償金の支給等に関する法律第2条に規定するハンセン病療養所入所者等）がいる世帯
8	申込者が60歳以上の方であり、かつ、同居予定者のいずれもが60歳以上の方又は18歳未満の方である世帯
9	申込者が60歳以上の方である単身世帯
10	同居予定者に小学校就学の始期に達するまでの方がいる世帯

※この欄は、記入しないで下さい。

世帯区分	特定目的住宅の対象世帯	ひとり親世帯・高齢者世帯・障がい者世帯・単身者世帯
	裁量階層の対象世帯	裁量世帯／一般世帯

居住狀況報告書

(該当する□に「レ」点を入れて下さい。)

[illegible]

※ 記入上の注意

- 1 居室数の欄の間取りは、各部屋の畳数を記入して下さい。居室が洋間である場合は、当該居室の面積を1.65で除して、畳数に換算した数値を記入して下さい。
- 2 住宅の設備の欄は、間借り（生計を異にする親族その他の世帯と同居し、又はそれらの世帯の住宅の一部を賃借等している状態）の場合は、記入しないで下さい。
- 3 立退要求の欄の「有」に該当するのは、建物賃貸借契約の更新に当たり、賃貸人が自ら当該建物を使用する必要がある等、賃貸人に賃貸借契約の更新を拒絶する正当な理由がある場合です。（賃借人の家賃の不払い等、賃借人側の責に帰すべき事由によって賃貸借契約の更新を拒絶され、又は当該事由により契約期間中に立退きを要求されている場合は、該当しませんので注意して下さい。）

申 込 み 状 況 に 関 す る 調 査

過去2年間の市営住宅の空家の入居希望者の登録の申込み状況（市川市以外の住宅の申込みを除きます。）について、該当する□に「レ」点を入れて下さい。

令和5年 募集期間 6月1日～6月15日	☐ 申込みをした(☐ 登録された ☐ 登録されなかった) ☐ 申込みをしていない ☐ 不明・覚えていない
令和6年 募集期間 6月3日～6月17日	☐ 申込みをした(☐ 登録された ☐ 登録されなかった) ☐ 申込みをしていない ☐ 不明・覚えていない

申込者全員が提出する書類

- 申込者の状況に応じて提出する書類

- *は所定用紙（市営住宅課の窓口及び市公式ウェブサイトにて配布）

確 認 書

申込資格調査で失格事項に該当する場合は、申込みを失格とされても異議を申しません。

ご確認の上□にチェック✓してください。

- ☐ 本市に住民登録し、居住してから6カ月以上経過していること。
- ☐ 現に同居し、又は同居しようとする親族があること。単身入居の場合は資格があること。
- ☐ 現在、次のいずれかに該当する住宅困窮理由があること。
- (1) 住宅以外の建物若しくは場所に居住し、又は保安上危険若しくは衛生上有害な状態にある住宅に居住している。
 - (2) 他の世帯と同居して著しく生活上の不便を受けている。
 - (3) 住宅がないため親族と同居することができない。
 - (4) 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、又は教育上不適当な居住状態にある。
 - (5) 正当な理由による立退きの要求を受け、適当な立退き先がないため住宅に困窮している（自己の責めに帰すべき事由に基づく場合を除く。）。
 - (6) 収入に対する家賃の割合が過大である。
- ☐ 世帯の月収額が、収入基準額を超えていないこと。
・一般世帯…月収額：158,000 円以下 ・裁量世帯…月収額：214,000 円以下
- ☐ 令和7年6月16日現在で市税（市民税、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、国民健康保険税）を滞納していないこと。
- ☐ 申込者または同居しようとする家族が暴力団員でないこと。
- ☐ 自己（申込者及び同居しようとする家族）が住宅を所有していない、または、令和7年3月31日までに、持ち家の所有権移転をすることが確定していること。
- ☐ 申込後に記載内容と変更がないこと。
- ☐ ペット（犬・猫）を飼っていないこと。現在、ペットを飼っている場合については、入居時において市営住宅以外に飼育場所を確保すること。
- ☐ 申込資格の審査にあたり、本市が必要な収入/所得額、年金情報、市税に関する情報（入居希望者全員）及び住民基本台帳の調査を行うことについて承諾する。

上記の項目について、全て該当することを確認しました。

市川市長

令和 年 月 日

申込者

住所 市川市

氏名（自署）